

# ファーストペンギン通信

第22号  
発行日  
令和2年12月19日(土)  
発行人  
八王子実践中学校  
中学部長 石川敦史

令和2年12月11日(金)午前9時から2時間にわたって、経済に関する総合学習が行われました。

認定NPO法人「金融知力普及協会」、「三井住友DSアセットマネジメント」、「LINE株式会社」の方々が本校を訪れ、ゲームをしながら経済を学ぶ授業をしてくださいました。中学校で経済について学ぶのは中学3年生ですが、当日は中1～中3まで全校生徒で取り組みました。

## 経済TCGエコノミカとは



プレイマット(写真↑)を机の上に置き、2人で対戦をしながら、自分の資産を増やしていくゲームです。4つの資産(預金・日本株・ドル・ゴールド)をプレイマットの上に並べて、それらの資産価値を高められるようにさまざまなイベントを利用します。

資産は最初ランク2です。1段階ダウンすると価値はランク1に、もう一つ下がるとランク0で無価値になり捨て札置き場に置かれます。逆にランクを3, 4, そして次の(最高ランク5)まで高めることができれば、もう変化しない安定資産としてストックゾーンに置かれるのです。その資産が3つになったら、その対戦に勝利したことになります。

例えば、[貿易黒字イベント]なら「預金」と「日本株」は1ランクアップ、「ドル」は1ランクダウン、「ゴールド」は変化なしです。その影響を受けたくない場合は、「リスクヘッジカード」(金融知力、NISAなど)を使って、被害を止めます。イベントは、相手にも自分にも影響が出ます。うまく、危機を回避しながら、資産価値を高

©A. P. F. L. Japan All Rights Reserved

# 世界経済を学べる体験学習

## 総合学習～経済TCGエコノミカを使って～

### 資産価値が変わる



イベントカード(写真↑)には、[好況][不況][円高][円安][貿易黒字][貿易赤字]などがあります。それぞれのイベントカードを出すことによって、4つの資産の価値が上がったり下がったりします。

例えば、[貿易黒字イベント]なら「預金」と「日本株」は1ランクアップ、「ドル」は1ランクダウン、「ゴールド」は変化なしです。

その影響を受けたくない場合は、「リスクヘッジカード」(金融知力、NISAなど)を使って、被害を止めます。

イベントは、相手にも自分にも影響が出ます。うまく、危機を回避しながら、資産価値を高

めるのです。

言葉で説明するとわかりづらいですが、トレーディングカードゲームを知っている生徒たちはすんなりゲームに入っていました。

### 授業のまとめ

最後のまとめの一つとして、「日本株」と「預金」の性質の違いを話し合いました。2年生の男子が、「日本株」はハイリスク・ハイリターンですと言い切りました。講師も感心していました。

つまり、異なる性質の資産を持つことによって価値変動に対処できるのだということを教わりました。これを分散効果というそうです。



あっという間に2時間が過ぎてしまいました。最初はJ-Lab

1, 2に全校生徒が入るはずでしたが、3密をさけるために、中1, 2はLab 1, 2に中3はLab 3, 4に入りZoomで会場をつなげての実施でした。



さまざまなアイデアや取組がコロナのために中止や延期に追い込まれていますが、私たちはそんな中でも生徒のためになることを吟味しながら挑戦しているのです。

このエコノミカの動画は、この通信を添付したメールの平文に記したURLをクリックして見てください。生徒たちの様子が詳しくわかります。